



ゆずっこ

福島市立御山小学校
学校だより NO. 5
令和6年7月18日(木)
発行者 校長 高澤 里美

子どもにとっての71日間



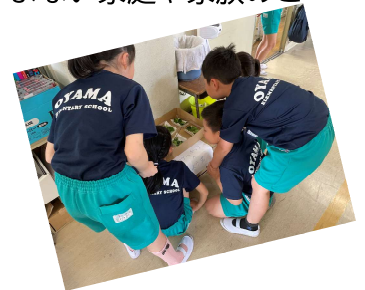
明日、第1学期の終業を迎える子どもたち。第1学期71日間という日々は、大人にとってはあっという間の時間ですが、子どもにとっては、いろいろなことを経験し、いろいろな壁にぶち当たり、多くのことを学び、力を付けてきたかけがえのない時間です。それは、大きな行事だけではなく、子どもたちの日常の中に流れている何気ない時間も同様です。

4月、入学、進学、クラス替え、新しい担任、1.5倍になった学級の人数、経験のない教科のスタート、隣の席の見知らぬ子、担任以外の授業等々。新学期をスタートさせた子どもたちが乗り越えなければいけない壁のなんて多いことでしょう。

壁は次々現れます。友達との関係、授業への不安、行事をやりとげるために必要なエネルギーの不足とそれに伴う不安、知らなかった友達の一面、担任との関係、イメージと違う勉強、学級や学校で求められる役割、理由のわからない苛立ちや不安、理由はわかっているけど自分ではどうしようもないこと・・・子どもによっては、ここに、一つや二つではすまない家庭や家族のことが加わることも考えられます。さらに、自分で招いてしまった日々の出来事も積み重なります。

こうして子どもたちのことを思うと、71日間、本当によくがんばってきたんだなあと思いが熱くなります。そして、子どもたちが乗り越えてきた壁を振り返ったとき、今年度スタートさせた朝に、期待と不安に胸を膨らませて教室に一步を踏み入れたときの子どもは、もう、どこにもいないことに気がきます。どの子も、その子なりの大きな成長を遂げているということに、保護者のみなさまもぜひ目を向けていただきたいと思います。もしかすると、その成長が見えにくいお子さんもいるかもしれません。だからこそ、お子さんが成長したところ、がんばったところをたくさん見つけて、思いっきりほめてあげたいのです。

7月20日から、土日を含め33日間の長い夏休みが始まります。「子どもが学校に行かずに家にいる毎日」子育てを終えた今、その日々がどんなに愛おしく大切なものだったかを思い知ります。その時は、夢中でした。学童への送迎、昼ご飯の準備、夏休みの課題、スポ少の送迎と保護者に割り当てられるお茶当番、そして仕事…夏休みだからできることを我が子に経験させたいという願いとは裏腹に、母として、私も毎日を慌ただしく過ごしていました。そして、過ぎ去ってから、気付くのです。どれほど貴い時間だったかということに。



御山小学校の子どもたちにとって、夏休みが素敵な時間となりますことを願っております。



おもいやりハルム

あたたかい心
あいさつ ありがとう



【あいさつリーダーに任命】
地域の方に元気にあいさつ
をしてほめられた5年生



だれかが廊下に
こぼした水に気付
いて、一生懸命廊
下を拭いてくれた
1年生

【学級目標】
ひとにやさしく助け合う



停まってくれた車
には必ずあいさつ
感謝の気持ちを伝
えます

やる気一休バンバン

進んで運動 自分の体を大切に

やったあ！プールだ！！
6年生も無邪気に喜ぶ



【体カテスト】
がんばる！
腹筋



磨けていないのは、
どの歯かな…（真剣）



【保健委員会からのメッセージ】
階段を走ってのぼるとつまずいてし
まうから、歩いてね

学び合いハングム

文章(教科書)を読んで わかる



【朝読】
御山小の月・水・金は、
読書から1日が始まる



学び合う
友達と



学び合う
教員も



学び合う
本気で